

化学肥料低減計画書(記載例)

秋肥と春肥の両方を申請する場合には、秋肥用、春肥用の2枚を提出

○ 秋肥用と春肥用は、分けて提出してください。

秋肥や春肥の代表的な作物と
その他で構わない

秋用肥料	春用肥料	年間
○		

注: 該当するものに○を付けること

作付概要(主な2品目の面積を記載)

作物名	作付面積(ha)
ピーマン	0.3
にんじん	1.5
その他	0.5
計	2.3

氏名(法人・組織名) 鴨池太郎

住所 鹿児島市吉野町20-1

電話番号 099-255-1110

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組の欄に「○」、従来の取組の強化・拡大に「○」を記入してください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組		
		継続する取組	新たな取組	取組の強化・拡大
ア 土壌診断による施肥設計				
イ 生育診断による施肥設計				
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入				
エ 堆肥の利用	○	○		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)				
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)				
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用				
ク 緑肥作物の利用				
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用				
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用				
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)				
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用			○	
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用				
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)				
ソ 地域特認技術の利用()				

- ・ 2つ以上の「○」が付いたらOK
- ・ 前年度までに既に取り組んでいるものもカウントできます(その場合、1つ以上は、新しい取組または従来の取組の強化・拡大を含)

※ 裏面にもチェック欄があるので、チェックした上で、署名してください。

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。